

第三回定例会（六月分）
平成24年度一般会計補正予算について

5名の議員が討論を行いました。

反対討論

高木 教夫

今回の補正予算は、牧場跡地の建造物撤去・歌垣・田尻・東郷の体育館の診断・改修費等、合計約2億1千万円が計上されていますが、この金額では各学校の第二診断や耐震化ができ、この予算を耐震化事業に充当すべきです、現在学校に通いその教室で勉強をしている850名の生徒の命より、牧場跡地の建造物撤去や周辺の道路新設改良が優先される、人命軽視の予算編成には当然賛成することが出来ませんので反対の立場を取らして頂きます。

濱 諦弘

府民牧場の建て物を壊すだけで1億8900万円を使う。能勢町は100億の借金と28億の基金です。28億の基金をとりくずして府民牧場の建て物を壊すのには反対です。
2億あれば、能勢町全ての学校の耐震ができるじゃありませんか。
1億8900万円をドブに捨てる事は許さない。

八木 修

今回の3校の体育館耐震工事に向けた予算は、子どもたちの安全対策ではなく、跡地利用の地元の意向を受けて行われる。このようなやり方で国（文科省）から補助金をもらえるのか疑問だ。

また、2008（H20）年度に補助金制度が拡充され、自治体負担はかなり軽減化された。当時審議されていた学校教育検討委員会にこのような国の動きを的確に説明すべきだが、事務局は情報を操作し学校再編を押し進めたことを付け加えておく。

賛成討論

原田 健志

今では新学校建設の方が子供の安全・安心をより早く確実に確保できる。これは東郷・田尻・歌垣小学校体育館の耐震化が25年半ば以降になる事をみれば、改築を含む全学校の耐震化より早くできる事は明らかである、なおかつ、極少人数学級の解消も同時に図る事が重要である、ゆえに新学校に関する予算は賛同できる。

また、中学校の課題であるクラブ活動の改善策も運動部活動地域連携再構築事業で進められている。

消防団員退職報償金は町の消防・防災に貢献された方々の功績に敬意を表し滞りなくこれに報いる事が肝要である。これらをもって私は補正予算に賛成する。

美谷 芳昭

本補正予算中、新学校建設に関する予算で、建設予定地の既存施設撤去工事費、及び通学路改修に伴う測量設計費、東地区3小学校の体育館耐震化2次診断費用等が上程されているが、いずれも新学校建設に向けて重要な予算である。

特に、当初の新構想の校舎配置案と異なっているが、構想は構想として、最大の教育効果上がるよう、諸条件を勘案して総合的に配置を決めるべきであり、そのための既存施設の撤去はやむ得ないものである。

今後は、町民の皆さんに約束した27年4月開校に向けて、タイトなスケジュールではあるが、順次遅れることないよう計画的に実施していく必要があり、そのためのこの補正予算は必要で、何ら問題ないもので賛成とする。

濱 諦弘議員に
対する辞職勧告
決議について

反対討論

八木 修

先に問責決議を出し、本人が反省していないと即辞職勧告はどうかと思う。提出者に対して、先の問責決議案は一部反対者もいたので、できれば全員の意思で問責決議に変更してはと提案したが、残念ながら聞き入れてもらえなかった。

この間の言動をみると、今回の辞職勧告に積極的な反対の立場ではないことも表明しておく。（P13参照）